（公）財務会計基準機構会員

平成23年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年10月21日

上場会社名　石塚硝子株式会社　上場取引所　東・名
コード番号　5204　ＵＲＬ　http://www.ishizuka.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）山中　昭廣
問合せ先責任者　（役職名）執行役員財務部長　（氏名）加藤　明　（ＴＥＬ）（0587）37-2111
四半期報告書提出予定日　平成22年10月28日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成23年３月期第２四半期の連結業績（平成22年３月21日～平成22年９月20日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年３月期第２四半期	29,727	4.6	1,040	50.7	936	60.7	25	△91.5
22年３月期第２四半期	28,407	－	690	－	582	－	300	－

	１株当たり四半期純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年３月期第２四半期	0	73	－	
22年３月期第２四半期	8	55	－	

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
23年３月期第２四半期	70,823	19,272	24.2	486	95
22年３月期	68,166	19,203	25.0	485	54

（参考）自己資本　23年３月期第２四半期　17,110百万円　22年３月期　17,062百万円

２．配当の状況

	年間配当金									
	第１四半期末		第２四半期末		第３四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年３月期	－		－		－		3	00	3	00
23年３月期	－		－							
23年３月期（予想）					－		4	00	4	00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：　無

３．平成23年３月期の連結業績予想（平成22年３月21日～平成23年３月20日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	54,700	1.1	1,500	11.0	1,250	13.8	30	△94.5	0	85

（注）当四半期における業績予想の修正有無：　無

４．その他（詳細は、［添付資料］Ｐ．３「その他」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　：有

新規　　－社　（社名）　　除外　　１社　（社名）アイピーアイ株式会社

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更：無

②　①以外の変更　　：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年３月期２Ｑ	36,295,543株	22年３月期	36,295,543株
②　期末自己株式数	23年３月期２Ｑ	1,156,751株	22年３月期	1,153,806株
③　期中平均株式数（四半期累計）	23年３月期２Ｑ	35,140,391株	22年３月期２Ｑ	35,145,772株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する説明

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関連する事項は２ページ【定性的情報・財務諸表等】３．連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（第２四半期連結累計期間） …… 6
（第２四半期連結会計期間） …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円高と株式市況の低迷が企業業績に対して深刻な影響を及ぼすなか、雇用・消費動向は依然として厳しく、先行きがますます不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、５年～１０年先を見据え、自ら変革し続け、グループ力を結集して『経営基盤を強化する』をコンセプトに、当期を初年度とする「石塚硝子グループ中期経営計画」（ＩＳＨＩＺＵＫＡイノベーション'78）の実行に取り組んでまいりました。

売上高につきましては、記録的な猛暑により紙容器・ＰＥＴプリフォームの出荷が大幅に伸び、グループ全体の売上高は29,727百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。また、利益面では、増収効果に加え、前期に実施した生産体制の再構築とグループを挙げてのコストダウンの徹底などにより、営業利益は1,040百万円（前年同四半期比50.7%増）、経常利益は936百万円（前年同四半期比60.7%増）となりました。一方、四半期純利益は、株価下落による投資有価証券評価損の発生等により25百万円（前年同四半期比91.5%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

ガラス容器関連事業

ガラスびんは、夏場の猛暑等から、出荷重量ベースでは前年並みとなりましたが、品種構成変化等から売上高は9,409百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。一方、ハウスウエアは、中近東向けの輸出が回復しないなか、梅の不作により貯蔵壜の出荷も減少しましたが、直需分野で大型の景品受注を獲得し、売上高は4,720百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。

以上の結果、ガラス容器関連事業の売上高は14,706百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

他素材容器関連事業

プラスチックは東京工場でのＰＥＴブローラインを前期末に生産停止したものの、夏場の記録的な猛暑によりＰＥＴプリフォームの出荷が大幅に伸びたことなどから、売上高は8,629百万円（前年同四半期比9.1%増）となりました。一方、紙容器も天候による後押しのほか、積極的な販売活動により納入拡大が進んだことなどから、売上高は4,731百万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。

以上の結果、他素材容器関連事業の売上高は13,685百万円（前年同四半期比9.1%増）となりました。

その他の事業

アドバンストガラスでは、抗菌剤の新規製品の受注を獲得し、また、機器販売でも前期の大幅落ち込みの反動から増収となりました。

以上の結果、その他の事業の売上高は1,335百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ589百万円増加し、2,233百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、2,168百万円（前年同四半期は724百万円の資金増加）となりました。資金増加の主な要因は、減価償却費1,697百万円、たな卸資産の減少1,383百万円、仕入債務の増加1,482百万円及び投資有価証券評価損710百万円によるものです。

一方、資金減少の主な要因は、売上債権の増加2,862百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1,583百万円（前年同四半期は3,353百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出809百万円及び貸付けによる支出627百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、10百万円（前年同四半期は2,861百万円の資金増加）となりました。これは主に、長期借入れによる収入によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年３月期の業績予想につきましては、平成22年９月30日に公表しました業績予想に変更はありません。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

当第２四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であるアイピーアイ株式会社を吸収合併し、連結の範囲から除外いたしました。なお、これによる業績への影響はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間末 (平成22年９月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年３月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,233	1,744
受取手形及び売掛金	12,885	9,621
有価証券	100	－
商品及び製品	8,587	10,088
仕掛品	462	387
原材料及び貯蔵品	3,273	3,230
その他	2,079	2,087
貸倒引当金	△40	△39
流動資産合計	29,580	27,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,206	8,371
機械装置及び運搬具（純額）	8,481	9,138
土地	13,371	13,371
その他（純額）	2,364	1,691
有形固定資産合計	32,424	32,572
無形固定資産	31	38
投資その他の資産		
投資有価証券	4,770	5,233
その他	3,889	3,101
貸倒引当金	△83	△85
投資その他の資産合計	8,577	8,249
固定資産合計	41,033	40,860
繰延資産	209	185
資産合計	70,823	68,166

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間末 (平成22年９月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年３月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,266	4,783
短期借入金	13,394	14,137
1年内償還予定の社債	1,682	1,991
未払法人税等	121	125
賞与引当金	599	533
その他	4,362	3,766
流動負債合計	26,426	25,337
固定負債		
社債	9,745	9,136
長期借入金	5,315	4,631
退職給付引当金	3,834	3,865
役員退職慰労引当金	20	7
汚染負荷量引当金	632	655
負ののれん	253	340
その他	5,322	4,988
固定負債合計	25,124	23,625
負債合計	51,551	48,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,911	5,911
資本剰余金	4,149	4,149
利益剰余金	2,206	2,285
自己株式	△267	△267
株主資本合計	11,999	12,079
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	675	503
繰延ヘッジ損益	△71	△27
土地再評価差額金	4,507	4,507
評価・換算差額等合計	5,111	4,982
少数株主持分	2,161	2,140
純資産合計	19,272	19,203
負債純資産合計	70,823	68,166

（２）四半期連結損益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成21年３月21日 至　平成21年９月20日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成22年３月21日 至　平成22年９月20日)
売上高	28,407	29,727
売上原価	22,820	23,666
売上総利益	5,587	6,060
販売費及び一般管理費	4,896	5,020
営業利益	690	1,040
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	77	80
受取賃貸料	41	53
負ののれん償却額	92	89
その他	46	35
営業外収益合計	263	265
営業外費用		
支払利息	228	231
その他	141	138
営業外費用合計	370	369
経常利益	582	936
特別利益		
固定資産売却益	2	－
その他	1	－
特別利益合計	4	－
特別損失		
固定資産除却損	89	314
投資有価証券評価損	－	710
その他	4	0
特別損失合計	94	1,025
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	492	△89
法人税、住民税及び事業税	68	241
法人税等調整額	95	△406
法人税等合計	163	△164
少数株主利益	28	50
四半期純利益	300	25

（第２四半期連結会計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結会計期間 (自　平成21年６月21日 至　平成21年９月20日)	当第２四半期連結会計期間 (自　平成22年６月21日 至　平成22年９月20日)
売上高	14,286	15,453
売上原価	11,353	12,119
売上総利益	2,933	3,334
販売費及び一般管理費	2,464	2,634
営業利益	468	699
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	68	67
受取賃貸料	18	26
負ののれん償却額	46	44
その他	29	13
営業外収益合計	164	155
営業外費用		
支払利息	118	117
その他	73	86
営業外費用合計	192	203
経常利益	440	651
特別利益		
貸倒引当金戻入額	－	7
特別利益合計	－	7
特別損失		
固定資産除却損	7	313
投資有価証券評価損	－	710
その他	0	0
特別損失合計	8	1,024
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	432	△365
法人税、住民税及び事業税	27	167
法人税等調整額	92	△454
法人税等合計	119	△286
少数株主利益	22	24
四半期純利益又は四半期純損失（△）	290	△102

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成21年３月21日 至　平成21年９月20日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成22年３月21日 至　平成22年９月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	492	△89
減価償却費	1,690	1,697
負ののれん償却額	△92	△89
貸倒引当金の増減額（△は減少）	39	△0
賞与引当金の増減額（△は減少）	55	65
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△25	△30
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△5	13
汚染負荷量引当金の増減額（△は減少）	△24	△22
受取利息及び受取配当金	△83	△87
支払利息	228	231
有形及び無形固定資産除売却損益（△は益）	108	335
投資有価証券評価損益（△は益）	－	710
売上債権の増減額（△は増加）	△1,868	△2,862
たな卸資産の増減額（△は増加）	△189	1,383
仕入債務の増減額（△は減少）	1,145	1,482
割引手形の増減額（△は減少）	△1,206	△424
未払費用の増減額（△は減少）	55	235
その他	602	△25
小計	924	2,523
利息及び配当金の受取額	84	84
利息の支払額	△217	△226
法人税等の支払額	△67	△213
営業活動によるキャッシュ・フロー	724	2,168
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	200	100
定期預金の預入による支出	△100	－
有価証券の取得による支出	－	△100
有価証券の売却及び償還による収入	100	－
有形固定資産の取得による支出	△2,714	△809
有形固定資産の売却による収入	35	0
投資有価証券の取得による支出	△10	△126
投資有価証券の売却による収入	－	2
関係会社出資金の払込による支出	△587	－
関係会社株式の取得による支出	△250	－
貸付けによる支出	△92	△627
貸付金の回収による収入	140	12
その他	△74	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,353	△1,583

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成21年３月21日 至　平成21年９月20日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成22年３月21日 至　平成22年９月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,045	△410
長期借入れによる収入	1,650	2,500
長期借入金の返済による支出	△482	△2,148
社債の発行による収入	1,446	1,555
社債の償還による支出	△665	△1,300
リース債務の返済による支出	△24	△79
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	0	－
配当金の支払額	△105	△105
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,861	10
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	△6
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	232	589
現金及び現金同等物の期首残高	1,429	1,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,662	2,233

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕
前第２四半期連結累計期間（自　平成21年３月21日　至　平成21年９月20日）

	ガラス容器関連事業（百万円）	他素材容器関連事業（百万円）	その他の事業（百万円）	計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高						
（1）外部顧客に対する売上高	14,717	12,538	1,151	28,407	－	28,407
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	310	279	163	753	(753)	－
計	15,028	12,818	1,314	29,161	(753)	28,407
営業利益又は営業損失（△）	207	496	△21	682	7	690

当第２四半期連結累計期間（自　平成22年３月21日　至　平成22年９月20日）

	ガラス容器関連事業（百万円）	他素材容器関連事業（百万円）	その他の事業（百万円）	計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高						
（1）外部顧客に対する売上高	14,706	13,685	1,335	29,727	－	29,727
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	352	333	232	918	(918)	－
計	15,059	14,019	1,567	30,645	(918)	29,727
営業利益又は営業損失（△）	313	747	△19	1,042	(1)	1,040

（注）１．事業区分の方法
事業区分は、製品の種類・性質等の類似性及び当社グループの損益集計区分を考慮して決定しております。
２．各事業の主要な製品

事業区分	主要製品
ガラス容器関連事業	洋雑酒びん、ビールびん、飲料水びん、食料調味料びん、コーヒーびん、牛乳びん、清酒びん、化粧品びん、薬びん、王冠、鉢皿類、コップ、貯蔵びん
他素材容器関連事業	紙容器、同容器に係る充填機械、ペットプリフォーム
その他の事業	抗菌剤、高強度ガラス、キャップ、ブロー成形機、検査機器

３．会計処理方法の変更
前第２四半期連結累計期間
（棚卸資産の評価に関する会計基準）
第１四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第９号　平成18年７月５日公表分）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益は、その他の事業で25百万円減少しております。

〔所在地別セグメント情報〕
前第２四半期連結累計期間（自　平成21年３月21日　至　平成21年９月20日）
本邦以外の国または地域に連結子会社及び在外支店は存在しないため、該当事項はありません。
当第２四半期連結累計期間（自　平成22年３月21日　至　平成22年９月20日）
本邦以外の国または地域に連結子会社及び在外支店は存在しないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕
前第２四半期連結累計期間（自　平成21年３月21日　至　平成21年９月20日）
海外売上高が連結売上高の10％未満のため、海外売上高の記載を省略しております。
当第２四半期連結累計期間（自　平成22年３月21日　至　平成22年９月20日）
海外売上高が連結売上高の10％未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。